

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	26	学校名	宇都宮市立清原南小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

令和4年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重を基盤に、知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し、日本の伝統や文化を大切に、平和な国家の形成者として、21世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子供を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

「たくましく、思いやりがあり、よく学ぶ子の育成」

2 学校経営の理念

恵まれた自然環境と、146年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち、子供への愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々とともに歩み、自らの資質・能力を高めるとともに自己変革に努め、教育目標達成のために全力を尽くす。

また、先人に感謝しつつ、母校への誇りと自己の尊厳を高めるような教育活動を展開し、持続可能な社会の創り手となる子供たちが「未来を生き抜く人間力」を身に付けるため、知・徳・体のバランスのとれた力の育成に取り組む。そのために、児童・教職員・保護者・地域が連携し、多様な活動を通して地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

- 1 地域に開かれた地域とともにある学校づくりの推進
- 2 成長し続ける基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力の育成
- 3 新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成
- 4 多様な教育的ニーズに対応した指導・支援の充実
- 5 学び続ける教職員としての資質・能力とチーム力の向上
- 6 業務の効率化と勤務時間を意識した働き方改革の推進

[清原地域学校園教育ビジョン]

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、同施行規則、新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「とちぎ教育振興ビジョン」、宇都宮市教育委員会の「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和4年度指導の重点」を踏まえて、公教育の立場を堅持し本校の教育目標達成のため、調和と統一ある教育課程を編成する。
- (2) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列して、それぞれが充実した調和と統一ある教育課程を編成する。
- (3) 「うつのみや学校マネジメントシステム」の結果を受け、本年度の学校教育目標・学校経

営の方針を踏まえて、実態に応じた指導が計画的に行われるようにし、PDCA サイクルを確立して改善を図る。

- (4) 「地域とともにある学校づくり」を推進するため、地域協議会との連携により、地域の特性や願いを基に児童に必要な資質・能力を明確にし、地域の人的・物的資源を活用して、社会に開かれた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- ・教職員評価制度を活用して、個人及びチームのスキルアップを図る中で、学校運営への積極的な参画を目指す。
- ・教職員のカリキュラムマネジメントに対する意識の高揚を図り、児童に求められる資質・能力を教科等横断的な視点に立って育成できるよう、教育活動の質の向上に努める。
- ・学校 HP、各種便り等による情報発信を積極的に実施して、保護者や地域との連携を図り信頼関係の構築に努める。
- ・ICT 機器の活用、OJT の活性化、協働体制の推進並びに外部人材の活用によって業務の効率化を図る。
- ・出勤時刻管理システムによる勤務時間の自己管理や最終退勤時刻の設定、リフレッシュデーの設定、休暇等を取得しやすい勤務状況の構築を図り、勤務時間を意識した働き方改革を推進する。

○清原地区地域学校園構想と小中一貫教育の取組に基づき、小中9年間を見通した視点で効果的な取組や活動を検討し、授業改善並びに共通実践を行う。

(2) 学習指導

- ・教材や ICT 機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的な学び」の実現に向けた授業展開・改善を図る。
- ・「主体的・対話的な学び」を実現するために、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・授業では、学習課題や解決への見通しをはっきりもたせるとともに、各教科等の見方・考え方を働かせて深い理解を促すなど、課題解決にじっくり取り組めるよう、発問や学習活動を工夫する。
- ・教師のコーディネート力の向上を図り、安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成に努めるとともに、協働して課題解決に取り組む態度を養う。
- ・授業の終末は、本時の目標やめあてに焦点化した振り返りを言語により行わせる。また、AI ドリル等を計画的に活用し、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着を図る。
- ・図書や資料を効果的に活用し、必要な情報を得て考えを深めたり、知的好奇心を高めたりする児童の育成に努める。
- ・SDG s や郷土学習、人権等の現代的な諸課題に対応していくため、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成に努める。

○「清原つ子家庭学習の約束」を通して、保護者の家庭学習の啓発を図るとともに、1人1台端末を活用しながら、家庭学習の取組を奨励し、確実な習慣化を図る。

- ・積極的な授業公開を通して児童の学習上の課題解決の手口を考えたり、効果的な取組を共有したりし、資質・能力の向上と学び合う教師集団の育成を図る。

(3) 児童生徒指導

- ・確かな児童理解に基づく、教師と児童の信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育成し、児童一人一人が安心して自分の力を発揮できる学級経営に取り組む。

- ・いじめや不登校を生み出さないよう、規範意識や思いやりの心を育成し、すべての児童にとって居がいのある学級作りに努める。また、悩みやストレスを抱えたときに、相談して助けを求める援助希求能力を高める。
- ・多様な教育的ニーズに対応するために、特性のある児童の指導・支援については、保護者と児童理解、指導の在り方について共通理解を図るとともに教育支援委員会や SC、関係諸機関と連携して対応する。
- ・児童が活躍できる場を積極的に設定して、一人一人のよさや努力を認め励ますことにより児童の自己有用感並びに自己肯定感を高める。
- ・児童参画型の行事運営や異学年交流活動を推進し、児童のリーダーシップ及びフォロワーシップの醸成を図る。
- 「清原地域学校園の方針・約束・一日」を基に、教職員が同一の指導を行い、児童の基本的な生活習慣の確立を図る。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・「体力向上」「保健教育」「食育」「安全教育」の有機的な関連を図り、児童が健康に生活できる心と身体の育成を目指す。
- ・コロナ禍における運動機会の減少を踏まえ、休み時間を活用した運動機会の創出や、運動量の確保と ICT 機器を活用した授業の充実を図り、体力の向上に努める。
- 清原ミニマム・学校園体力チェックカードの結果を基に、児童が主体的に運動に取り組む授業内容を組織的に検討して実践する。
- 地域学校園統一の食育に関する取組を実践し、家庭と連携しながら望ましい食習慣の形成及び食に対する感謝の念の育成を図る。
- ・教育活動全体を通して、児童自らが危険を予測し回避するなど、自らの命を守り抜くための行動力の育成を図る。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式 2～4 参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- **本とのふれあいを通して**、豊かな情操を育むとともに、確かな情報収集・処理能力を育成する。
 - ・読書習慣の形成
 - ・表現力や想像力の育成
 - ・興味関心の高揚
 - ・情報収集能力・情報処理能力・情報活用能力の伸長
- **地域とのふれあいを通して**、地域の人・自然・社会への愛着心を育み、一体感を形成する。
 - ・多様な体験（勤労生産・自然体験）を通じた価値の発見
 - ・地域施設の発見
 - ・交流活動を通じた愛着心の伸長
 - ・地域人材・地域教材の価値の再確認
 - ・ボランティア精神の涵養
 - ・地域の一員としての自覚の高揚
- **人とのふれあいを通して**、多様な価値観・人との融和感・連帯感を醸成する。
 - ・多様な価値への気づき
 - ・世界観の広がり
 - ・集団の楽しさの理解
 - ・きまりを遵守する心
 - ・感謝する心
 - ・思いやりの心
 - ・リーダーシップとフォロワーシップの育成
 - ・自主性の育成
 - ・協調性の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

	本とのふれあい	地域とのふれあい	人とのふれあい
清南つながろうプロジェクト	教科・道徳・特活・総合 ・朝の読書 ◇読み聞かせ ・ファミリー読書 ◇司書ブックトーク ・読書週間 ・学級文庫の充実 ・図書室の活用 ・必読図書 ・タブレットを活用した「ビブリオバトル」 (チャレンジ読書) ・公立図書館との連携 ・辞書の活用 ・調べ学習	◇ 勤労生産的行事 ◇田植え・稲刈り・農園活動 ◇地域クリーン活動 等 ・ 地域素材の教材化 ・水辺の楽校 ・高田沼公園 ・清原工業団地(カルビー工場) ・道徳科地域教材「荒井退蔵」 ◇ 地域人材・「街の先生」の活用 ・学習ボランティア (水泳・ミシン・昔遊び・昔の道具体験等) ・教材作成ボランティア ・読み聞かせ(南風) ・キャリア教育「夢実現教室」 ・ 地域と連携した各種行事 ・清南まつり ・感謝の会 ・ふれあい給食等	◇ 縦割り班活動の推進 ・清掃・給食 ・集会活動 ・業間共遊 ◇ あいさつ運動 ・児童会 ・中学校 ・地域 ・ 企業等との連携 ・各種出前講座の活用 (環境・福祉・珠算 等) ・ 家庭との連携 ・親子奉仕活動 ・親子給食 ・親学講座

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

児童の地域活動への参加と地域人材の学校教育への参画を通して、学校・保護者・地域が相互に関わり合える関係性の構築を図る。顔の見える関係作りによって児童の安全確保や地域への愛着、自己肯定感の醸成及び地域協力者の生き甲斐づくりに取り組む。

②主な取組

- ・地域行事への児童の積極的参加（体育祭・文化祭・どんど焼き）
- ・地域人材の学校教育への参画（学習ボランティア・田植え・稲刈り・農園活動等）
- ・児童の奉仕的活動による地域への参画（地域クリーン活動）
- ・児童の安全確保に関する取組（登下校時の防犯パトロール・通学路点検）

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

学校園運営委員会のもと「学力向上」「特色ある学校作り推進」の部会をおき、更にその下に「教科教育」「宮っ子心の教育」「宮・未来キャリア教育」「元気アップ教育」の各委員会を置く。各活動を通して、中学校や地域人材と連携し、人との豊かな関わりの中で、将来に夢をもち夢の実現のために主体的に取り組む児童を育成する。

②主な取組

- ・地域学校園あいさつ運動（中学生が小学校の朝のあいさつ運動に参加）

- ・小中を通じたキャリア教育（キャリアパスポート、夢ロード、6年「夢実現教室」の実施）
- ・小中共通の「授業の視点」を明らかにした授業研究の実施
- ・中学校教諭による6年生への「乗り入れ授業」の実施
- ・中学校教諭と6年担任との情報交換会の実施

（3）不登校対策

①基本的考え

学級等集団における児童の居場所づくりを通して、自己肯定感や集団への帰属意識の向上を図り、全職員による組織的・計画的な支援を行うことで、不登校の解消を図る。また、集団づくりの基盤として、児童一人一人に「できる」「分かる」授業を提供し、基礎学力を保証する。更に、家庭や関係諸機関と随時連携し、情報共有していく。

②主な取組

- ・情報の共有と個別の支援計画の作成
- ・ハートタイムや各種アンケート実施による予防的開発的児童指導の推進
- ・月に一度の全職員での児童指導情報交換会の実施
- ・必要に応じた教育支援委員会の開催とチーム支援体制の構築
- ・端末を積極的に活用した学習支援

（4）G I G Aスクール構想

①基本的考え

教師・児童の力を最大限に引き出すG I G Aスクール構想を推進するため、1人1台端末を授業だけでなく日常的に活用し、個別最適な環境の下で多様な子供たちの指導の充実を図る。また、ICTの利活用により児童の各種情報を整理し、教師の負担を軽減する。

②主な取組

- ・授業の中での端末の活用方法と、教師の役割・指導体制の在り方についての研究及び実践の共有化
- ・ICT活用指導力の向上のための校内研修の推進
- ・端末を活用した家庭学習の進め方について、家庭への啓発と連携
- ・「情報モラル教育年間指導計画」に基づいたデジタル・シティズンシップの育成

（5）宇都宮学

①基本的考え

地域資源や教材・資料等を積極的に活用したり、「宇都宮学」において多様な体験的活動を取り入れたりして学習の充実を図り郷土理解を深めるとともに、児童が郷土への誇りと愛情をもてるようにする。

②主な取組

- ・社会科副読本の活用や宇都宮学施設めぐりを通じた郷土理解
- ・百人一首等の市の文化資源や産業に関する出前授業の実施
- ・体験的活動を通じた伝統工芸の探究学習
- ・地域素材の「水辺の楽校」、「高田沼公園」を活用した体験学習の実施
- ・地域の偉人「荒井退造」に関する探究学習